

平成 29 年 6 月 20 日

患者さん・ご家族様へ

後方視的研究へのご協力をお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者様のデータを用いた臨床研究を行います。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：糖尿病黄斑浮腫患者に対する治療実態の疫学調査

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2015 年 6 月に当科において糖尿病黄斑浮腫と診断され、当施設で始めて治療を開始され、その後 2 年間以上当施設で診療を受けられた方。

2. 研究目的、方法

糖尿病黄斑浮腫に対する治療は、現在、最新かつ効果的な治療法とされる VEGF 阻害薬の硝子体注射（眼球に注射）が第一選択とされていますが、効果不十分な症例には光凝固や硝子体手術、ステロイドの眼球への注射という従来の治療もおこなわれており、その治療選択については施設によってまちまちです。そこで、現在我が国では糖尿病黄斑浮腫にどのような治療が選択され、どの程度改善（悪化）しているかを全国規模で調査をおこないます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、採血データ、カルテ番号

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

志村 雅彦 東京医科大学八王子医療センター、坂本泰二 鹿児島大学、
北野滋彦 東京女子医科大学糖尿病センター、高村佳弘 福井大学、岡本史樹 筑波大学、
三田村佳典 徳島大学、緒方奈保子 奈良医大、宮田和典 宮田眼科医院、
土居範仁 (公財)慈愛会今村病院、竹内大 防衛医科大学、木村和博 山口大学、
杉本昌彦 三重大学、五味文 兵庫医科大学、森實祐基 岡山大学、楠原仙太郎 神戸大学、
平野隆雄 信州大学、馬詰和比古 東京医科大学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

杏林アイセンター

講師 厚東隆志 (研究責任者)

住所 東京都三鷹市新川 6-20-2

電話 0422-47-5511 (内線 2606)

杏林大学医学部眼科学教室

<http://www.eye-center.org>

研究代表者

東京医科大学八王子医療センター

教授 志村 雅彦